



第49期 第2四半期報告書  
2011.04.01-2011.09.30



Aoi Advertising Promotion Inc.

私たちは映像制作を通じ、  
すべての人々と喜びを分かち合い、  
ひろく経済、情報、文化に貢献する  
企業をめざします。

**Dream & Happiness**



## ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

本年3月11日に発生した東日本大震災により、被災されました株主の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

ここに当社第49期第2四半期を終了いたしましたので、事業の概況につきましてご報告申し上げます。

当第2四半期におきましても、かねてより掲げております「広告映像制作における業界シェア拡大のための営業力・技術力強化とクロスメディアに対応できる人材・グループ会社の育成」、「これまでのノウハウをフル活用したビジネス領域の拡大」、「われわれの創造力と異業種とのコラボレーションによる新規ビジネスの開発」という3つの事業戦略の実現に積極的に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期のグループ業績につきましては、主力であるCM映像制作関連売上が好調なうえ、「週刊パーゴルフ」を発行する株式会社パーゴルフ、Webコミュニケーションコンサルティング事業ではパイオニア的存在である株式会社ビジネス・アーキテクツ、広告セールスプロモーション分野のクリエイティブで多くの実績を有する株式会社ティー・ケー・オーの3社を子会社化、インドネシア現地法人の設立等により、売上高は過去最高の水準となりました。一方、利益面では、本社移転等に伴う一時的な費用や事業戦略上の先行的な費用の支出等もあり、前年同期を下回りました。しかしながら、通期では、足元の好調な売上状況が維持されると見込まれることから、経常利益・当期純利益が前期比増益となる業績予想を発表させていただいております。

また、産学協同プロジェクトによるスマートフォン向けのアプリ開発や、ソーシャルゲームの企画・制作を行うなど、デジタル分野における新たなコミュニケーションに対応した動きも進めております。

わが国経済の先行きに対しては引き続き不透明感が強い状況にありますが、当社グループが着実に成長し、永続的に発展する企業であり続けるため、リスクを見極めつつも、これからも、勇気を持って新たなことにチャレンジしてまいりますので、ご期待いただければと思います。

私たちは「株主利益の増大を図る」とともに、「取引先、社員、地域社会等すべてのステークホルダーに満足される共益の利益を維持・向上する」ことが最大の使命であると考え、コンプライアンスを重視し、迅速で適切な意思決定と公正で透明性の高い事業運営を行い、すべてのお客さまのニーズに高いレベルで対応することにより、すべての人々と喜びを分かち合い、ひろく経済、情報、文化に貢献する企業を目指します。

株主の皆様には、今後とも一層の力強いご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長



## 株主の皆様へ

### 〈当社グループの経営成績について〉

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月に発生した東日本大震災後に急速に落ち込みましたが、サプライチェーンの復旧に伴い持ち直しの動きを続けています。

このような状況のもとで、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高90億9千1百万円（前年同四半期比127.9%）、営業利益1億9千1百万円（前年同四半期比38.7%）、経常利益1億7千7百万円（前年同四半期比49.3%）、四半期純利益7千2百万円（前年同四半期比36.0%）となりました。

### 〈セグメント情報〉

当社グループのセグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間から、ゴルフに係る出版・広告・オンライン事業を行う株式会社パーゴルフを連結の範囲に含めたため、本事業を「メディア関連事業」として、報告セグメントに追加しております。

#### ①広告制作事業

わが国経済の動きを反映し、広告需要も厳しい状況が続きましたが、足元は回復の兆しも見えてきております。

こうした中、グループ全社を挙げた営業体制強化の取り組みの継続により、主力であるCM映像制作関連売上が好調なことに加え、多様化を続けるメディアに対して、全方位でクライアントのニーズに対応すべく、Webコミュニケーションコンサルティング事業ではパイオニア的存在である株式会社ビジネス・アーキテクツと、広告セールスプロモーション分野のクリエイティブで多くの実績を有する株式会社ティー・ケー・オーを、本年7月1日に子会社化しました。

加えて、アジアに進出する日系企業の現地マーケットへ向けたCM制作ニーズに対応すべく、成長が著しいインドネシアにPT. AOI ASIA INDONESIAを、本年

9月に設立しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は83億3千8百万円（前年同四半期比117.3%）と前年同四半期比増収となりましたが、セグメント利益については、比較的制作原価率の高い映像作品やアプリの売上増加、本社移転等の効率的なオフィス環境整備に伴う一時的費用や上記のような新規事業開発に伴う先行的費用の支出もあり、3億5千9百万円（前年同四半期比67.4%）と前年同四半期比減益となりました。

#### ②写真スタジオ事業

平成22年6月、当社連結子会社株式会社ホリーホックにて、コンシューマー向け写真館運営事業及び全国の写真館に対する販売促進支援を行う「写真スタジオ事業」を開始することを決定し、平成22年9月、東京ミッドタウンに「写真スタジオhollyhock」第一号店をオープンさせました。現状、創業赤字の状態であり、当第2四半期連結累計期間の売上高は2千2百万円（前年同四半期比2,738.9%）、セグメント損失は4千3百万円（前年同四半期はセグメント損失6千7百万円）となりました。今後は、早期の黒字化を目指して、全国の写真館に対する販売促進支援事業を本格化させるなど、引き続き積極的に事業を推進してまいります。

#### ③メディア関連事業

本年4月1日、ゴルフに係る出版・広告・オンライン事業を行う株式会社パーゴルフの株式を取得し子会社化し、当社グループとして初めて「メディア」を保有することになりました。当第2四半期連結累計期間については、震災の影響により雑誌売上、広告売上が一時的に落ち込んだこと等から、売上高は7億3千万円、セグメント損失は1億3千8百万円となりましたが、「週刊パーゴルフ」の持つブランド力と編集力に、当社グループが持つデジタル映像制作技術、エンタテイメントコンテンツ制作ノウハウと創造力に加え、オンライン事業も含めたゴルフ総合サービスを提供してまいります。

## CM特集

# TV Commercials

アサヒ飲料 ワンダ モーニングショット  
「私も飲みたい」



Aoi Advertising Promotion Inc.

資生堂 エリクシール シュベリエル  
「宣言」



Aoi Advertising Promotion Inc.

ダイハツ工業 ミライース  
「登場」



Aoi Advertising Promotion Inc.

ニッセン 2011秋  
「十人十色の秋」



Aoi Advertising Promotion Inc.

#### ④情報流通事業

情報流通事業を行う株式会社タクサシステムズは、平成22年12月27日に開催した同社臨時株主総会にて解散を決定し、平成23年3月28日に特別清算手続開始の申立済みであり、9月14日には協定案の認可決定がなされております。

なお、セグメント利益又は損失は、第2四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。また、記載金額には消費税等は含まれておりません。

#### 〈通期の見通し〉

わが国経済の先行きについては、欧州における財政不安の影響による金融市場、株式市場の停滞などマイナス要因もあり、不透明感が強い状況にありますが、続く第3・第4四半期においても、足元の好調な売上状況が維持されると見込まれるとともに、前述のとおり第2四半期より子会社化した2社が期を通じて連結されること等から、通期業績については、売上、利益ともに前回予想を上回る見込みです。

	連 結	前期比
売 上 高	195億円	22.0%増
営 業 利 益	13億5千万円	8.7%減
経 常 利 益	13億2千万円	38.7%増
当 期 純 利 益	5億8千万円	60.7%増

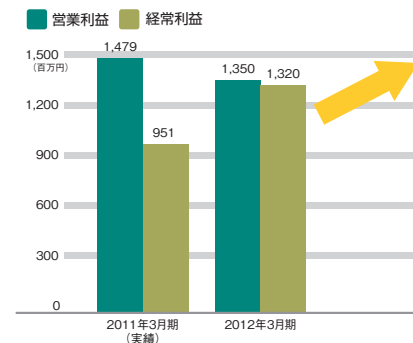
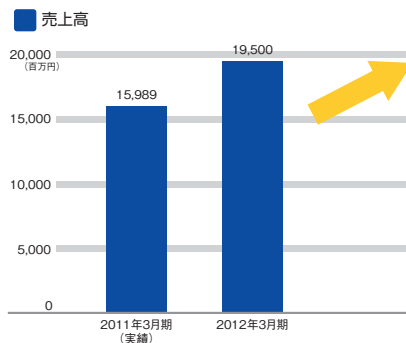
### 経営目標

当社グループは中期経営目標として、

- 1：グループ総売上高 190億円以上
- 2：1株当たりの当期純利益 50円以上
- 3：株主資本当期純利益率（ROE） 7%以上

を掲げております。

なお、「グループ総売上高 190億円以上」については、上表のとおり、今期達成見込であります。



サントリー酒類 ソウルマッコリ  
「マッコリパー スッキリ」



森永製菓 森永ダース  
「『いいこと、12コ。』新生活ダース」



LIXIL 企業  
「リクシルって知ッテル？」シリーズ



ウィルコム だれとでも定額  
「どんな人でも」



## 当社CM以外の作品紹介

### MUSIC VIDEO

サカナクション  
『パッパの旋律を  
夜に聴いたせいで。』  
ビクターエンタテインメント



### WEB SITE

資生堂 dプログラム  
「リカちゃん 肌スランプコール」  
<http://d-licca.jp/>



### MESSAGE VIDEO

Dear Japan Project メッセージビデオ  
「Dear Japan, from Phuket」  
<http://www.youtube.com/watch?v=1BbsL04lscY>



### NEW MEDIA

ソーシャルゲーム  
「燃えろ！全日本女子バレー」



歴代の全日本女子バレー選手などが実名で登場する  
ソーシャルゲーム。ソーシャル・ネットワーキング・  
サービス (SNS) のGREE、mobeage、mixiで提供中。

産学協同プロジェクト『青色二号』  
化学学習スマートフォンゲーム  
「ふって！バケ×ガク」



化学式を楽しみながら学習  
できるスマートフォン向け  
ゲーム。産学協同プロジェ  
クトとして『青色二号』を  
立ち上げ、拓殖大学 情報  
表現研究室と共同で企画  
制作・開発を行った。

東日本大震災の直後にタイ・プーケットで行われた広告  
祭をきっかけに広告業界の有志で結成されたプロジェクト  
「Dear Japan Project」に賛プロモーションとして参加。  
東日本大震災で被災された方々を応援する目的で、2004  
年のスマトラ島沖地震で津波の被害に遭った現地の被災者  
からのメッセージビデオを作成した。

当初動画サイト「YouTube」でのみ公開されたこの  
ビデオは、辛い経験を乗り越えて笑顔を取り戻したプーケット  
の被災者の姿や、「笑顔と未来は必ず日本にも戻ってくる」  
という勇気を与えるメッセージが反響を呼び、15社の  
スポンサーを得て正式にCMとして東北地方で放映された  
ほか、国内外の雑誌でも取り上げられた。この動画は現在  
も上記のURLから視聴可能。

## CM特集

# TV Commercials

ハーゲンダッツ ジャパン クレープガラス  
「包む心」



日本コカ・コーラ 爽健美茶  
「爽食・Food Loves 爽健美茶」



許諾：日本コカ・コーラ株式会社

ファンケル カロリミット®  
「いっぱい食べる君だから 男の子」



ソニーマーケティング デジタル一眼カメラα®  
「尾道、猫と二人旅」



## 葵プロモーショングループのご紹介



## 当社の事業戦略

- 1 主力であるテレビCM、WEBコンテンツ等広告映像制作における業界シェア拡大のための、営業力・技術力強化とクロスメディアに対応できる人材・グループ会社の育成。
- 2 これまで培ってきた映像制作に関わるノウハウをフル活用することによるビジネス領域の拡大。
- 3 われわれの財産である創造力を異業種とコラボレーションさせることで生まれる新規ビジネスの開発。

## 最近の子会社の動き

〈ビジネス・アーキテツの子会社化及び葵デジタルクリエーションの吸収合併〉  
→Web分野の強化

〈ティー・ケー・オーの子会社化〉  
→広告セールスプロモーション分野の強化

〈ホリーホックの設立〉  
→映像制作ノウハウを写真ビジネスで活用

〈PT. AOI ASIA INDONESIAの設立〉  
→日本の映像制作ノウハウを日本企業が数多く進出するアジア領域で活用

〈パーゴルフの子会社化〉  
→「週刊パーゴルフ」のブランド力・編集力と、当社グループが持つデジタル映像制作技術、エンタテインメントコンテンツ制作ノウハウと創造力のコラボレーション

## 葵プロモーショングループの事業紹介



### 株式会社 メディア・ガーデン

横浜市港北ニュータウンの一角に立つ、世界でも最高水準の設備を持つCM撮影スタジオ。約2,000坪の敷地に、撮影規模や用途に応じて選べる3タイプのスタジオを有する。2006年からは照明機材のレンタル業務も行っている。

### 株式会社 デジタル・ガーデン

TVCMやプロモーションビデオ、ミュージックビデオなどの映像編集スタジオ。ポストプロダクション部門は11編集室/2MAルームと、サテライトオフィスにCG部門を構える。オンライン・オフラインの垣根がない新設の編集室では、独占契約を結ぶ米国のCompany3社が世界に誇るトップカリストによる「リモートテレシネ」も好評。



### 株式会社 ワサビ

様々なクライアントニーズに的確に対応するために、機動力を活かしながら高いクリエイティブを常に提供する総合映像制作会社。

三菱電機 ユニ&エコチェンジ！  
「節電アシスト登場」

### 株式会社 エムズプランニング

企業や団体、地域のコミュニケーション活動など、世の中に新しいプロモーションを提案・創造する会社。

プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン  
「ヴィダールサマー『Colorful Job, Colorful Summer』キャンペーンイベント」



### 株式会社 スクラッチ

コミュニケーションを長期的・有機的に展開させながら、課題の発見から解決・発展まで。商品やコンセプトの開発から、アウトプットまでを行うコミュニケーション戦略会社。

商品開発事例 ライオン  
プラチアス(左) クリニカアドバンテージ(右)

### 株式会社 シースリーフィルム

特に外資系クライアントなどを得意とする、グローバルに対応したトータル設計が可能な映像制作会社。

P&G ハーバルエッセンス  
「ハーバルエッセンスシャンプー  
グッドヘアディリビール」



### 株式会社 ホリーホック

写真スタジオ事業として東京ミッドタウンにオープン。映像、広告制作のノウハウを盛り込んだ新しいタイプの写真スタジオ。

#### 3分着付け

京都老舗呉服メーカーと共同でプロデュースした写真スタジオ向け着物「3分着付け」の販売開始。美しい着姿をわずか3分で仕上げる。さらに親子コーディネート展開で、新たな晴れ着撮影の需要喚起を図る。

### 株式会社 パーゴルフ

ゴルフに関わる出版・広告事業会社。Web広告、電子書籍、Facebookページ、スマートフォンアプリなどのオンライン事業やゴルフイベントなどのリアル事業も強化し、ゴルフファンにゴルフライフをより楽しくする便利で刺激的なサービスを提供する。2011年4月に子会社化。



週刊パーゴルフ  
創刊40周年超特大号 2011 vol.39 10/18号



### 株式会社 ティー・ケー・オー

コンセプトワーク、プランニング、デザインそして撮影までをワンストップで行うグラフィック制作会社。クロスメディアを見据えたワンストップクリエイション、グラフィックを核とした多方向メディアへの展開を目指す。2011年7月に子会社化。

#### ぐるなび

東京おでかけサイト「Let's Enjoy TOKYO」  
9月告知駅貼りポスター「赤坂編」B倍サイズ

### 株式会社 ビジネス・アーキテクト

デジタルコミュニケーションにおける戦略の立案、アーキテクチャの計画・設計からデザインと実装、実装後の運用に至るまでの総合的なプロフェッショナルサービスを提供するWebコミュニケーション関連の総合ソリューション事業会社。2011年7月に子会社化。



日産自動車  
コーポレートコミュニケーション  
グローバルコミュニケーションプラットフォーム整備



### PT. AOI ASIA INDONESIA

東南アジアにおけるTVCM等の広告映像制作のニーズの高まりに対応するため、ジャカルタ（インドネシア）に現地法人として2011年9月に設立されたTVCM制作関連業務会社。

PT Astra Honda Motor CBR150R  
「LIVE TO RACE」



## 第2四半期連結財務諸表

### 第2四半期連結貸借対照表 (要旨)

(単位：千円)

科目	期別 前第2四半期 (平成22年9月30日現在)	当第2四半期 (平成23年9月30日現在)	前期 (平成23年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産	9,822,825	10,465,034	10,010,801
<b>1</b> 固定資産	<b>6,998,703</b>	<b>7,365,629</b>	<b>7,199,968</b>
有形固定資産	5,203,012	5,181,546	5,074,988
無形固定資産	231,952	706,634	195,858
投資その他の資産	1,563,737	1,477,448	1,929,122
資産合計	16,821,529	17,830,664	17,210,770
(負債の部)			
流動負債	4,622,163	5,845,455	5,346,886
固定負債	2,925,543	2,749,380	2,448,720
負債合計	7,547,707	8,594,836	7,795,607
(純資産の部)			
株主資本	9,073,807	9,067,877	9,149,943
資本金	3,323,900	3,323,900	3,323,900
資本剰余金	3,944,055	3,944,055	3,944,055
利益剰余金	2,733,960	2,728,979	2,810,838
自己株式	△ 928,108	△ 929,056	△ 928,851
その他の包括利益累計額	△ 346	△ 111,678	4,710
新株予約権	44,049	58,178	51,218
少数株主持分	156,311	221,449	209,290
純資産合計	9,273,822	9,235,827	9,415,162
負債及び純資産合計	16,821,529	17,830,664	17,210,770

### 第2四半期連結損益計算書 (要旨)

(単位：千円)

科目	期別 前第2四半期 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	当第2四半期 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	前期 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)
売上高	7,110,614	9,091,091	15,989,874
売上原価	5,734,547	7,670,766	12,743,470
売上総利益	1,376,066	1,420,325	3,246,404
販売費及び一般管理費	881,712	1,228,775	1,767,291
営業利益	494,354	191,550	1,479,112
営業外収益	27,629	45,628	52,259
<b>2</b> 営業外費用	<b>162,500</b>	<b>59,817</b>	<b>579,719</b>
経常利益	359,483	177,361	951,652
特別利益	43,227	5,372	49,691
<b>2</b> 特別損失	<b>103,503</b>	<b>1,149</b>	<b>303,987</b>
税金等調整前四半期(当期)純利益	299,206	181,584	697,357
法人税、住民税及び事業税	139,909	131,990	497,475
法人税等調整額	△ 67,266	△ 34,516	△ 239,561
少数株主利益	25,581	11,809	78,560
四半期(当期)純利益	200,982	72,301	360,882

#### POINT 1

無形固定資産が前期末比増加している主な要因は、子会社化するために3社の株式を取得したことに伴いのれんが発生したことによるもので、投資その他の資産が前期末比減少している主な要因は、投資有価証券の時価評価と旧本社事務所の敷金の回収によるものです。

#### POINT 2

営業外費用、特別損失が前期比減少している主な要因は、前期においては、当社持分法適用会社の解散決定・清算処理に伴い、営業外費用に持分法投資損失が、特別損失に減損損失が計上されていたことによるものです。

## 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨) (単位: 千円)

期 別	前第2四半期 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	当第2四半期 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	前 期 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)
科目			
営業活動による キャッシュ・フロー	232,503	394,563	646,821
<b>3</b> 投資活動による キャッシュ・フロー	△ 608,874	△ 439,023	△ 825,003
財務活動による キャッシュ・フロー	907,004	350,466	170,837
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 296	△ 1,482	△ 319
現金及び現金同等物の 増減額	530,337	304,524	△ 7,663
新規連結に伴う現金及 び現金同等物の増加額	1,517	—	1,517
現金及び現金同等物の 期首残高	2,233,176	2,227,030	2,233,176
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	2,765,031	2,531,554	2,227,030

### POINT 3

当第2四半期の投資活動によるキャッシュ・フローの主な要因は、本社移転に伴い日本社事務所の敷金の回収があった一方で有形固定資産を取得したこと、子会社化するために3社の株式を取得したことによるものです。

### 配当金計算書について

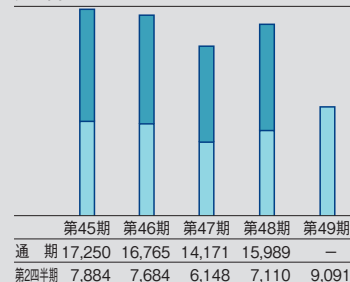
同封いたしております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づき作成する「支払通知書」を兼ねております。配当金をお受取になった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。

なお、配当金を証券口座でお受取り(株式数比例配分方式)の株主様は、お取引のある証券会社へご確認ください。

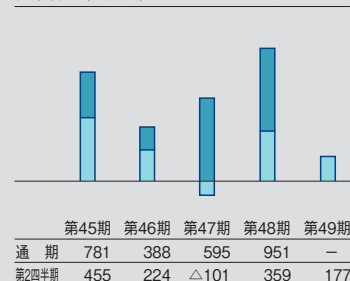
## 財務ハイライト(連結)

■ 第2四半期 ■ 通期

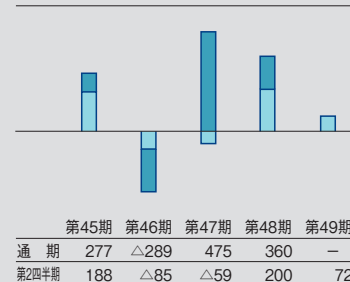
売上高 (単位: 百万円)



経常利益(△損失) (単位: 百万円)



四半期(当期)純利益(△純損失) (単位: 百万円)



## 会社の概況

(平成23年9月30日現在)

商号	株式会社 葵プロモーション
設立	昭和38年10月25日
資本金	3,323,900千円
従業員	243名(葵グループ577名)
主要な事業内容	テレビコマースの企画及び制作を主に、映像制作及びこれらに付帯する業務
主要な事業所	本社 東京都品川区 支店 米国カリフォルニア州カラバサス オフィス 新橋(東京都中央区) 赤坂(東京都港区) スタジオ 神奈川県横浜市都筑区 編集スタジオ 東京都渋谷区

## 取締役及び監査役

(平成23年9月30日現在)

代表取締役社長	藤原 次彦
専務取締役	八重樫 悟
常務取締役	笹 貫 善雄
常務取締役	中 江 康 人
常務取締役	讓 原 理
取締役	本 多 俊 也
取締役	小 甲 則 夫
取締役	小 形 浩 隆
常勤監査役	斉 藤 博
監査役	湯 佐 富 治
監査役	柴 田 芳 治
監査役	高 田 一 毅

(注) 監査役湯佐富治、監査役柴田芳治及び監査役高田一毅の3氏は、社外監査役であります。

## 株式の状況

(平成23年9月30日現在)

発行可能株式総数	38,000,000株
発行済株式の総数	13,334,640株
	(自己株式 1,476,607株を含む)
株主数	2,729名

### 大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
	(千株)	(%)
株式会社コスモチャンネル	1,373	11.5
株式会社イマジカ・ロボットホールディングス	1,000	8.4
松本 洋一	575	4.8
原 仁	400	3.3
原 文子	328	2.7
葵プロモーション従業員持株会	290	2.4
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	285	2.4
株式会社オムニバス・ジャパン	220	1.8
株式会社テーオーシー	202	1.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	172	1.4

(注) 1. 当社は、自己株式1,476,607株を保有しておりますが、上記大株主からは、除外しております。また、持株比率については、自己株式を控除して算出してあります。

2. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)と日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)の持株数は、全て信託業務に係る株式数であります。

## 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年の3月31日まで
  - 定時株主総会 毎年6月に開催いたします。
  - 単元株式数 500株
  - 基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
期末配当 毎年3月31日  
中間配当の支払いを行うときは9月30日といたします。
  - 公告方法 電子公告の方法により行います。  
電子公告の方法により行います。  
公告掲載URL (<http://www.aoi-pro.com/>)  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。
  - 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関
  - 同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
フリーダイヤル (0120) 232-711
  - 上場証券取引所 東京証券取引所
- (ご注意)
- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
  - 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
  - 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

# 株式会社 葵プロモーション

〒141-8580 東京都品川区大崎一丁目5番1号

TEL (03)3779-8000 (代表)

[www.aoi-pro.com](http://www.aoi-pro.com)

